

さくら第496号

令和 3年 4月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬 重雄
 春江町境 17-7: TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp

その時の出逢いが
 人生を根底から
 変えることがある
 よき出逢い
 ありと
 ありと

『新たな歩みをスタート…』

4月1日、令和3年度がスタート。小学1年生になる児童、中学1年生や高校1年生になる生徒。そして専門学校や短期大学や4年間の大学生活が始まる人もいれば、新しい社会人としていろいろな仕事にたずさわる一人、ひとりにとってそれまでの生活が大きく変化するものが4月です。

きっと家族の皆さんとこれまで過ごしてきた出来事やこれから体験するであろう思いに夢と希望、そして分からない事への不安などあれこれ話していることでしょう

ところで1年365日、1日24時間は誰にも等しく間違いなく与えられますが、その使い方は全て違うことでしょう。どのような使い方をするかは、その人の考え方、気持ちの持ち方や物事に対する好きキライなどで千差万別です。新しい学年には新しい目標で心も新たに頑張っ活きましょう。

さくらそろばんには学習目標があります。同じ学年でも誕生日が4月2日と翌年の4月1日では1年ほどの違いがあります。また、入塾する日もバラバラです。

いちがいいには言えませんが、学年ごとの達成目標は次のとおりです。3年生で4級合格、4年生で3級合格、5年生で2級合格、6年生で1級合格、中学生で段位合格が達成目標であり、このレベルをクリアすれば珠算技能優秀生として表彰されます。

暗算種目については学年に関係なく、2桁×2桁、4桁÷2桁、2桁10口のみとり暗算と、

3桁5口のみとり暗算の計算ができることを目標にしています。

全珠連珠算段位検定試験の合格者は3月検定でこれまでの合格者が395名になりました。合格した段位数の合計は908段です。これまでの一人ひとりの積み重ねです。

これを基に合格者500名、段位数1000段を目標にして、皆さんの力を結集して達成することを願っています。

珠算能力検定試験は1980年6月の第101回から受験し、今年2月の第221回までの間に1級合格が165名であり、満点合格者は2名です。満点合格をめざす人が増えるよう受験して欲しいと思います。

4級以下の下級でも満点合格はなかなか難かしく、まして1級ともなればきわめて困難ですが、チャレンジしてみましょう。

学校支援そろばんボランティア授業に各小学校に伺いました。3年生ですが計算の苦手な児童もいます。そろばんは筆算のように1の位からではなく、上の桁、大きい位から計算するので概数(がいすう)計算にも役立ち、また補数計算もそくざに分かります。

担任の先生に、最大公約数や最小公倍数をそろばんを使って計算する方法を説明するとすぐできるので、簡単ですね、便利ですね、そろばんっていろいろできますねと驚きます。

藤島高校3年生の細川詩月さんが「東京大学文Ⅲ」に現役合格しました。久しぶりに塾へ顔を見せあれこれ話すなかで、何といっても「集中力」の大事さを言います。全珠連七段合格を果たしており、全国大会にも5回出場し県内の競技大会にも多く参加していました。

検定試験は10級からあり、その都度、合格することにより達成感があり、やる気アップにもなったと言います。小さな成功体験を多く重ねるのが大事であることなどを話しながら、大学入学は目的ではなくこれから先に挑戦するであろう仕事への手段の一つであることを話し、好奇心をもち目の前に現れることに全力で挑戦し、楽しい時間を過ごしてほしいものです。